

戦後政治と政治学



戦後政治と政治学_下载链接1_

著者:大嶽 秀夫

出版者:東京大学出版会

出版时间:1994-6

装帧:精装

isbn:9784130300940

日本の敗戦前後から1950年代末までに公刊された、日本政治に関する同時代的な分析のうち、12の業績を取り上げ、内容を考察するとともに、方法論的な観点からも検

討を加える。日本政治分析の様々な方法をさぐる。

作者介绍:

目录: 第1部 天皇制ファシズムの諸相(占領改革のイデオロギー的背景
 戦後政治学の出発点としての「超国家主義」分析
 伝統的家族制度の法社会学的分析
 天皇制国家のイデオロギーと政治構造の分析
 近代日本「精神構造」の民俗学的分析)
 第2部 「逆コース」時代の政治とその背景(「逆コース」時代の政治学的体制分析
 「旧意識」の社会心理学的実証分析
 伝統的文化の背景をなす社会構造の分析
 選挙研究による「意識調査」
 「地方自治への攻撃」の政策過程論的分析
 労働争議の実証分析)
 付論 現代政治学的方法的基礎
 [\(收起\)](#)

[戦後政治と政治学_ 下载链接1](#)

标签

日本政治

政治学

比较政治

日本

政治分析

一般教养

评论

「戦後」はキーワード。。代表的な文献レビュー

大岳之于日本政治学的贡献，大概类似于Dahl在美国政治学中的地位吧。大岳是那种现实政治感非常好的那种人。政治是不可视的，大岳擅长把这种不可视的领域，通过独特的问题意识表现出来。就他所提倡的实证政治研究手法，无论当时在日本有着怎样的批判与赞同，现在已经彻底在政治学里固定下来了，虽然未必可以说，没有他那一代人的贡献，就不会有或者说他所设想的实证研究和现在的政治科学之间有着怎样的区别。不过，作为公允的评价而言，大岳的确是欧洲知识分子那种现实政治的关怀，同时，也有着不遵从于特定的政治理念，通过现实的问题理解政治的现实主义者。这部著作多少相当于知识社会学的考察，和一般的article review和思想史的批判不同。是同时代政治研究史的追溯。和现代学学R，Phyton就说学科进步啦的学者还是不一样的

[戦後政治と政治学_ダウンロード1](#)

书评

[戦後政治と政治学_ダウンロード1](#)